

2023年1月25日

各位

ENEOS株式会社

根岸製油所が環境省の認定実証事業にて「自然共生サイト」認定相当と評価！

当社（社長：齊藤 猛）の根岸製油所（所長：原 敬）における緑地整備の取り組みが、環境省より「自然共生サイト」認定相当と評価されましたので、お知らせいたします。

ENEOSグループは、2022年度より環境省が主導する「生物多様性のための30by30 アライアンス[※]」に加盟しています。環境省は、30by30の目標達成に向け、民間企業の取り組み等により生物多様性の保全が図られている区域を、「自然共生サイト」として2023年度から認定する予定で、2022年度は課題検討のための認定実証事業が前期と後期に分けて実施されております。

当社の根岸製油所は後期事業に参加し、同製油所の中央緑地が「自然共生サイト」に認定相当であるとの評価を受けました。

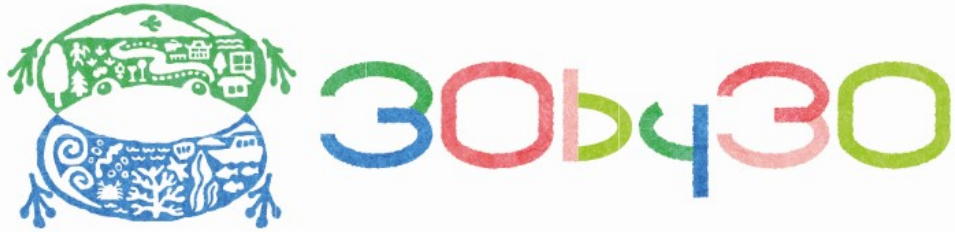
根岸製油所は、東京湾に面し、周囲を三溪園、本牧山頂公園、根岸森林公園などの緑地に囲まれ、海と山の自然が交差する地域に位置しています。1964年の開所以来、緑地管理を継続しており、2016年からは同所の中央緑地において、生物多様性保全の取り組みを開始しました。地域生態系ネットワークの拠点の一つとすべく、森を間伐し、緑地の中に“光と風”を導入する里山の手法を用いた環境整備等を行っており、山羊によるエコ除草、太陽光発電を利用した耕水機による池の水質改善、野鳥観察舎の設置をはじめとした所員発案の取り組みも行っています。

ENEOSグループは、今後も生物多様性の保全をはじめとした環境保全活動を進め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

※ 2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させるというゴールに向け、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際的目標「30by30」の国内達成に向け、環境省を含めた産民官17団体を発起人として2022年4月に発足した有志連合。当社グループの同アライアンスへの参加については、ENEOS REPORT ESGデータブック2022をご覧ください。

[ENEOS REPORT ESGデータブック \(eneos.co.jp\)](https://eneos.co.jp)



30by30 のロゴ



根岸製油所 中央緑地の諸活動